

札幌市地域防災計画

地震災害対策編

札幌市防災会議

令和5年3月修正

目次

第1章 総則

第1節	計画の目的と柱	1
第2節	計画の体系と構成	3
第3節	市、防災関係機関及び市民等の役割	7
第4節	市域の災害環境	16
第5節	地震被害の想定	22

第2章 災害予防計画

第1節	災害予防対策の基本方針	43
第2節	災害に強い組織・ひとづくり	45
第3節	災害に強い地域づくり	49
第4節	災害に強い都市づくり	56
第5節	公共施設等の災害対策	70
第6節	ライフラインの災害対策	79
第7節	災害情報収集・伝達システムの強化	93
第8節	消防体制の強化	101
第9節	医療・衛生・環境の体制づくり	108
第10節	被災者支援の体制づくり	116
第11節	地区防災計画	126

第3章 災害応急対策計画

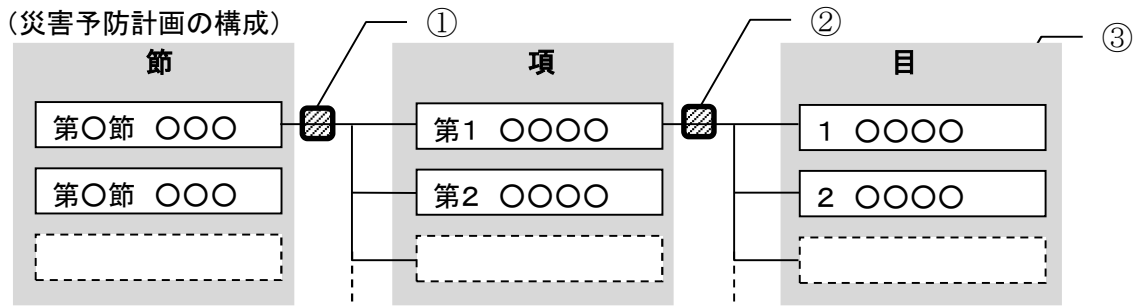
第1節	災害応急対策の基本方針	129
第2節	災害対策本部	132
第3節	災害情報の収集・共有・伝達、広報・広聴	136
第4節	応援派遣要請	148
第5節	消防活動	165
第6節	応急医療・救護	168
第7節	避難	173
第8節	交通対策・緊急輸送	181
第9節	生活救援	184
第10節	建物の応急対策	189
第11節	公共施設の応急対策	194
第12節	ライフラインの応急対策	197
第13節	遺体の処理・埋葬	209
第14節	防疫・清掃・環境対策	212
第15節	要配慮者対策	220
第16節	応急教育対策	225
第17節	ボランティア活動	227
第18節	災害救助法の適用	230

第4章 災害復旧・復興計画

第1節	災害復旧・復興対策の基本方針	235
第2節	市民生活安定への支援	236
第3節	経済の復旧支援	240
第4節	災害復旧事業の推進	241
第5節	都市復興計画	245

凡例

第2章 災害予防計画



①〔施策の体系〕

・節に含まれる予防対策(項・目)及び所管課等を一覧で整理したもの。関係機関・団体は、対策の実施に関連する団体等を記載している。

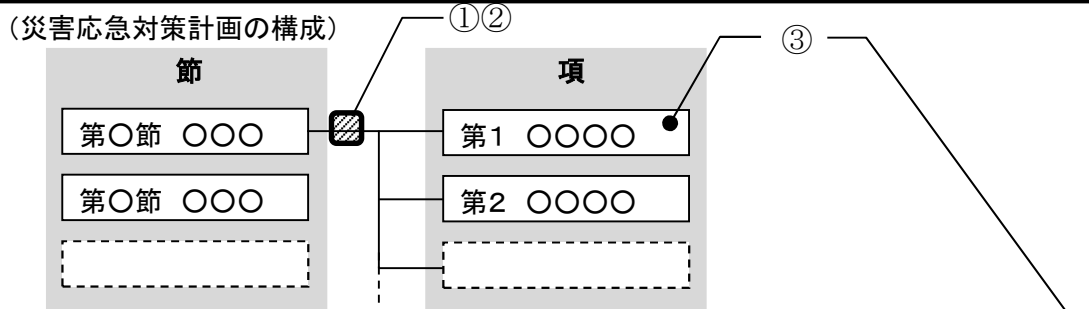
②◇課題及び方針

・項に含まれる予防対策(目)が、前提とする課題や対策の基本方針を整理したもの。

③◇対策の現況及び計画

・対策(目)の対策と所管課等を示している。
 ・右欄は対策を示し、無印は「対策の現況」を示し、◆印は「今後取り組む対策」を示している。

第3章 災害応急対策計画



【札幌市の対策】

災害の流れ	対策の目標	主な対策
地震発生 ↓	・○○○○○○○。	・○○○○○○○。
24時間 ↓	・○○○○○○○。	・○○○○○○○○○○○。

①この節の対策を担当する機関

・節に含まれる応急対策(項)及び主管部等を一覧で整理したもの。関係機関・団体は、対策の実施に関連する団体等を記載している。

②この節の対策で想定される事態と課題

・節に含まれる応急対策(項)が、前提とする被害や被害に関連して生じる課題を想定し整理したもの。

③札幌市の対策

・時間経過に併せて行う対策を整理したもの。なお、「災害の流れ」に示す時間等は、主な対策を行う目安であり、対策を行う時期や順番は、想定した被害と実被害の差によって変わる場合がある。

第1章 総則

第1節 計画の目的と柱

第1 計画の目的

札幌市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の規定に基づき、札幌市における災害に対する業務及び今後の方向性を札幌市防災会議が策定したものである。

本計画の目的を次のように定める。

**市民の生命、財産を守るため、災害に強いまちづくりを進め、
大災害にも対応する防災体制の確立をめざす。**

第2 計画の柱

計画の目的を達成するため、本計画では次の3つを計画の柱に掲げて、必要な施策を推進していく。

1 より実践的な防災体制の確立に向けた取組

日ごろから、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害時」という。）に備え、想定される被害に即座に対応できるような防災体制の整備を進めるとともに、迅速な人命の救助や被災者のニーズを踏まえた避難生活環境の整備を進めるなど、被災状況に応じた柔軟な対応ができるよう、実践的な防災体制の強化を図る。

2 防災協働社会を目指した取組の充実

阪神・淡路大震災など過去の大規模な自然災害では、被害の大きさから、行政や防災関係機関による救助や支援が間に合わず、多くの命が家族や近隣住民などによって救われたことから、地域における助け合いが大切であることが教訓として指摘されている。

こうした震災の教訓を踏まえて、行政はもとより、市民一人ひとり、家族、企業、町内会などの身近な地域団体などが自主的に被害の軽減に向けた取組を進める。また、地域の防災力を高めるため、日ごろから地域団体などが連携・協力し合う「防災協働社会」の構築を進める。

3 積雪寒冷など札幌の地域特性を踏まえた対策の充実

積雪寒冷地であること、道都として交通・情報・経済等の中心都市であること、大都市として集客施設、生活関連施設が集中していること、文化や観光の拠点としての機能が集中し、学生・留学生・観光客が多いことなど、本市の地域特性を踏まえた対策の充実を図る。

